

平成 22 年度文化財保護事業報告

1. 委員会・・・「清須市文化財保護条例」(平成 17 年 7 月 7 日条例第 85 号)
「清須市文化財保護規則」(平成 17 年 7 月 7 日教育委員会規則第 31 号)に基づいて設置。

文化財保護審議会 年一回開催 平成 23 年 3 月 11 日

2. 文化財保護・・・時代推移の中で先人が残した貴重な文化財を後世に残すべく、郷土の歴史の特徴をあらわした文化財資料を中心に保存と保護を図る。

- (1)文化財の指定 清須市内の指定文化財は国・県・市指定を含めて 32 件。
【清須市内指定文化財等一覧】(資料 3)

(2)埋蔵文化財の保護

清須市内には、弥生時代最大級の集落とされる朝日遺跡、清洲城下町遺跡等が所在し、清洲地区を中心に埋蔵文化財包蔵地広く分布している。

埋蔵文化財包蔵地の周知、有無の確認、発掘にかかる届出の受理、発掘調査等の実施等に対応している。

平成 22 年度 有無照会：7 件、発掘届出：93 件、発掘通知：11 件

確認調査：3 件 (3 月 15 日に 1 件予定)、試掘調査：1 件

(3 月 10 日 現在)

【清須市内の遺跡一覧】(資料 3)

(3)歴史資料整理業務委託事業

所蔵資料の適切な管理・保管のため、緊急雇用創出事業を活用し民具資料を中心とした所蔵資料の再整理と新規の台帳作成及びデータベース化を併せて行った。

3. 啓発活動・・・生活様式及び社会環境の変化の中で、失われていく文化遺産(埋蔵文化財・史料・民俗・環境・自然等)の大切さを理解し、文化財愛護と保護活動への意識向上を図る。

(1)文化財収蔵品展

期 日 平成 23 年 3 月 29 日 (火) ～4 月 24 日 (日)

開催場所 清須市はるひ美術館

テーマ 平成 22 年度清須市文化財収蔵品展

「清須懐古写真館ー昔ここにあった風景ー」

展示内容 明治から昭和にかけて社会情勢とともにめまぐるしく変化してきた町の姿を清須市が所蔵する写真資料を通じて紹介する。学校や役場などの公共施設、道路、鉄道、町並みなど記憶に残る懐かしい風景の写真を

展示する。この展示を通じて、市民に清須市という地域の一体性を感じ、懐かしい昔の清須の姿に触れていただく。

(2)文化財講座・講演会

・文化財講座

会 場 清洲市民センター

定 員 40名 受講者数 延べ157名

回	月/日	内 容	講 師
1	5月27日	尾張守護所「清須」 ー織田信長はなぜ小牧に新しい町を造ったかー	県埋蔵文化財センター 調査研究員 鈴木 正貴
2	6月24日	新しい近世の城と城下町 ー徳川家康はなぜ「清須越」を行ったのかー	県埋蔵文化財センター 調査研究員 鈴木 正貴
3	7月22日	美濃路あれこれ	清須市教育委員会 歴史文化振興室 小出 明
4	8月26日	猿猴庵日記ー清洲花火ー	名古屋市博物館 学芸員 山本 祐子

・文化財講演会

①「清須お城フォーラム知られざる戦国の清須」

期 日 平成22年9月11日(土)

開催場所 清洲市民センター

入場者数 約150名

内 容 これまで明らかになっていない中世・職豊期の清須について考古学の成果から解き明かす。城郭研究の第一人者、村田修三氏の基調講演と愛知県埋蔵文化財センター鈴木正貴氏、愛知県文化財保護室梅本博志氏の講演とパネルディスカッションを開催し、城郭研究の現在や清須城について語り清須市に眠る新たな魅力を発掘する。

②「清須越の名古屋商人ー伊藤次郎左衛門家を中心にー」 講師の都合により中止

(3)文化財関係刊行物の販売

生涯学習課と西枇杷島問屋記念館にて刊行物の販売を行なっている。

【文化財関係刊行物一覧】(資料3)

(4)歴史文化振興事業

新川町制100周年事業の一環として、新川町史の編纂を行ない、平成19年度に『新川町史 通史編』を刊行し事業は終了したが、資料返却等を行なった。併せて清須市で所蔵する資料の調査・整理作業を行っている。

(5)清須越四百年関連事業

平成22(2010)年に清須越から400年を迎え、この歴史的意義ある年を契機として、市の魅力の再発見と情報発信を進めることを目的に、企画政策課を中心に

清須越四百年事業を展開した。これに併せて清須越四百年に関連した事業を開催した。

・歴史ガイドボランティア育成事業

生涯学習課では、清須越四百年事業の一環として平成 21 年度に開催した育成講座受講者を対象にしたステップアップ講座と初心者向けの育成講座を開催した。その後、受講者団体化と産業課への引継ぎを行った。

4. 施設管理・運営・・・各方面からの寄贈により収集された貴重な文化財資料の保存・管理に努めるとともに、それらを整理・展示して広く一般公開を図る。

(1)西枇杷島問屋記念館

名称 清須市西枇杷島問屋記念館
所在地 清須市西枇杷島町西六軒 20
面積 敷地面積 1,391.55 m² 延床面積 151.62 m²
主屋 98.82 m² 離れ 52.80 m²
構造 木造 2 階建
開館 平成 5 年 4 月
概要 「下小田井の市」の創始者の一人といわれる九左衛門家の住居を、平成 4(1992)年に、移築復元したもの。明治初期に建てられ、美濃路を形成してきた町家のなかでも江戸時代の青物問屋の様式を伝える貴重な建物。
開館日数 302 日 (63 日休館)
入場者数 5,122 名 (3 月 1 日現在)
①冊子販売 第一集から第十一集 (第六集を除く) を販売
②展示の充実を図る。

(2)春日公民館郷土資料室

名称 清須市春日公民館郷土資料室
所在地 清須市春日東出 8 番地 2
面積 延床面積 280 m² 展示室面積 220.5 m²
開館 平成 3 年 4 月
概要 清須市春日公民館 4 階に開設。宮重大根に関する資料や、郷土の農具・民具を中心に展示。昭和 40 年代に発掘された竹村・寅ヶ島遺跡の出土品も一部展示している。
開館日数 285 日 (80 日休室)
①収蔵品の整理を行なう
②展示の充実を図る

*館内整備のため平成 23 年 3 月 15 日から当面の間休室

(3)新川民具資料室 収蔵品の整理を行う

5. 指定文化財補助・・・市指定文化財に対して、修理・管理・公開について補助する。

(1)修理費補助 有形民俗文化財（山車） 3件

* 平成22年10月10日の清須越四百年事業における曳行で破損したものは企画政策課の保険で対応したため補助は行っていない。

(2)管理費補助 ①有形文化財

②有形民俗文化財（山車）

③天然記念物 計11件

(3)公開費補助 有形民俗文化財（山車）

計5件（尾張西枇杷島まつり5件）

(4)文化財関連団体

西枇杷島町山車保存会

目的 西枇杷島に所在する山車の保存・管理、尾張西枇杷島まつりにおける山車の運行を図る。

役員 会長 後藤昌治 副会長・会計他

会員等 橋詰町、問屋町、東六軒町、西六軒町、杣西町の町内会会員

主事業 尾張西枇杷島まつりにおける山車運行他